

第32期の修了式にあたり学長として式辞を申し上げます。

一年間学習を積み重ねてそれぞれが技術や教養などを身に着け、さらに学友との親交を深められ人生に一層の彩を添えられて本日修了式を迎えられた皆さん、誠におめでとうございませう。このおめでたい席に来賓として北部支所長清水直樹様、福山市議会議員 小川眞和様、生田政代様、福山市北部地域振興課小林課長様、そして皆様をご指導いただいた講師の先生方に錦上花を添えて頂いて盛大に修了式を盛大に挙行できますことをうれしく思い深く感謝申し上げます。

さて、昨年の修了式は新型コロナウイルスの感染のまん延防止対策の措置期間に当たっていたために中止いたしました。その前の年は例年に比べて規模を縮小して実施いたしました。その他にも新型コロナ以前とは多くのことが変わりました。一番大きな変化は、修了作品展及び修了芸能発表会です。市民大学の建物で3週間をかけて作品の展示をするようになっています。その間に芸能発表会や修了体験教室も行い、キャリア展も同時に実施しています。コンパクトな会場ではありますが期間を長く設定し、学生だけでなく多くの市民のみなさんなどの参加をいただくようにしています。

学生数にも変化があります。以前は千人を超えていましたが32期の今年度は861人しか入学されませんでした。しかし、途中で退学される方は思いのほか少なく最後まで熱心に学習に取り組まれました。先日行われた修了発表会の内容を見させていただくとその質の高さに感心させられ、絵画や書道、歌など一年間の成果が表れていました。さらに今年は油絵とパッチワークの大学院が始まりました。また、コーラスの2クラスがコーラスフェスティバルに参加いたしました。リーデンローズのステージで堂々と日ごろの成果を披露していただきました。「緊張したけれど良い経験になった」「最初は出たくないと思ったけれど、出演して良かった」などの感想を頂いています。少しずつではありますが学習内容に変化が表れていることを嬉しく思っています。

しかし、これからは、学生の確保が難しくなってくるのではないかと危惧しています。70歳まで働く意欲があれば働くことができる環境が整ってきています。そのためでしょうか60歳代の男性学生の人数が増えてまいりませう。フルタイムで勤務を続ける人や働きながら町内会の役員の仕

事をしている人などが増えているのではないかと推察しています。

どうか修了式が終わってもまだ追加募集がありますから家族のかたや友人をさそっていただいて入学してほしいと願っています。

さらに私は大きな危機感を持っています。それぞれが自発的な意思によって生涯を通じて学ぶことによって、豊かな人生を送ると同時に活力ある地域づくりに貢献するという生涯学習の意義そのものの弱体化です。

少子化そして超高齢化の時代にあって社会福祉関係の予算の比率が増え、年金も厳しくなると考えられます。日常生活も大きく変わってきてもっとも変化の激しい時代になるでしょう。自動運転が当たり前になったり、テレビ電話が日常的に使われるようになったりしてきつと便利になるでしょう。しかし、便利な世の中が私たちにとって必ずしも暮らしやすい状況になるとは限らないと考えています。マイナンバーカードに免許証や健康保険証と結びつける動きになっていると聞いています。大丈夫でしょうか？少々心配です。IT化のなかで、若い人についていけない状況もさらに激しくなります。

懸命に働き、目まぐるしく変わる社会に合わせて生き抜かなくてはならない時代に、私どものような生涯学習施設で学習をやり始める人が減ってくるでしょう。そうすると75歳から90歳ぐらいまでの間はどのように過ごすのでしょうか。趣味もなく隣近所に親しく話ができる友がいない寂しい人が増えてきてしまいます。家の中に年寄りが二人だけで暮らす生活を思い浮かべてみてください。寂しいものです。

どうか、趣味を自宅の近くで見つけて楽しく学び、近所に心の通う友達とコミュニケーションを豊かにしてつながる喜びを感じ、互いに感謝を伝えあいながら豊かな人生を作っていただきたいと切に願っています。私たちの北部市民大学のような生涯学習施設の役割が大きくなると考えています。

これからも、皆さんが意欲をもって楽しく学習して自己実現が図れますことを祈念して式辞といたします。

2023年（令和5年）3月4日

福山市北部市民大学 学長 吉川信政